ETAJIMA GoON! エタジマゴーオン

Vol.13

沖美町・三吉
LICHOU―リシュー

海を見ながら特別な「ご褒美時間」を

この春オープンしたばかりのネイルサロン・LICHOU（リシュ）。さまざまな職場経験を経て、本当に自分のしたいことを見つけたサロンのオーナーに、お店をオープンするに至るまでのお話や仕事への思いをインタビューしました。

さまざまな職種を経て ネイリストへの挑戦

三高港目の前にある小さなネイルサロン。オーナーの沖原葵さんは、生まれ育った地元・三高地区に念願だった自分のお店をオープンさせた。葵さんは、沖美町三吉出身、大柿高校の卒業生だ。卒業後は大学へ進学し、江田島市内にある製造業を営む会社に就職した。

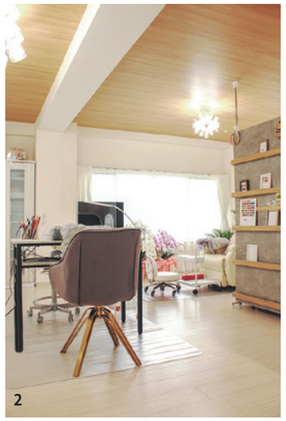
「バイトをしていた会社が社員として働かないか？と声を掛けてくれて。私はその職場も仕事も好きだったので、そのまま就職することになったんですよ」しかし、働き始めてからしばらくして会社が突然たたまれることになり、次の就職先を探すことになってしまった。その時、高校卒業後の進路で悩んでいたもう一方の選択肢、『美容関係の仕事がしたい』という気持ちを思い出したという。「元々大学へ行くか、美容の専門学校へ行くかで悩んでいたんです。その時の気持ちがずっと忘れられなかったんですよね。そしたら偶然、このタイミングで島でオープンしたばかりの美容室がアルバイトを募集していて、もうここしかない！と思ってそこで働き始めました」

憧れていた美容への道。葵さんは、接客や美容に関してさまざまなことを学んでいった。もちろん仕事は楽しかったが、年齢が進むとともにきちんと就職しなければ…という思いも出てきたという葵さんは、その後縁あって医療事務職に転職。そこから3年間、病院で働くことになった。「病院で働くことは、とても勉強になりました。健康のこと、薬のこと、人との接し方もそうです。対応させていただく方の年代もさまざまで、初めての経験ばかりでした」

しかし病院は、美容室みたいに人が癒しを求めに来たり、明るく喋って元気に過ごす場所ではない――葵さんの中で、再び美容の仕事への思いが大きくなっていった。「仕事にやりがいは感じていたのですが、改めて自分は人に喜んでもらえる、人に癒しを提供できる美容のお仕事がしたいんだと気づいたんです」

さまざまな職種を経てわかった、自分の『本当にしたいこと』。ネイルをすることが昔から好きだったという葵さんは、ネイルスクールに通い一から勉強を始めた。「当時私は28歳。始めるなら今しかない！と、腹を括って仕事を辞めました。それからは、ネイルの勉強をしながら生活のために働いて、毎日必死に頑張りましたね」

1



2

写真1：自身のネイルも素敵に仕上げている葵さん。綺麗で華やかなデザインから、個性的なデザインまで、幅広く対応します。
写真2：三高港目の前にあるサロンは、落ち着いた雰囲気で清潔感たっぷり。誰でも気兼ねなく施術を受けることができます。

みんなの『ご褒美時間』を提供するために

資格も習得し、念願だったネイリストとしてサロンで働くことになった葵さん。「経験も浅かったので、就業後はひたすら練習！職場だったサロンの近くに引っ越して、毎日家と職場との行き来だけといった感じで生活を送っていました。そしたら、忙しくなればなるほど、島での生活が恋しくなって、江田島が良い場所だったんだということに気づいたんです。私は江田島が好きだし、特に島から出たいという気持ちは無かったタイプなので、初めて島から出て一人で暮らしてみて、より島の良さを知ったんだと思います」

葵さんは、仕事を通して改めて島で過ごす時間の大切さを感じた。「知らないうちに、島では新しい挑戦をする方がいたり、移住者が増えていたり。皆さんに刺激を受け、私もいつかは島でお店を持ちたいと思うようになっていました」

そんな時、ふとインターネットで島の物件情報を見ると、三高にある物件と出会った。「物件を見た時に、なぜか電話しなきゃと思ってすぐに電話したんです」港も海も目の前、慣れ親しんだ地元であるこの場所が、次なる葵さんの職場となった。

「海が目の前ですし、港からもすぐに来れる。ちょっとした旅気分で来てもらえれば、気分も上がると思います。施術後は、海に行ったり、ご飯を食べたり…島を楽しんでもらうきっかけのお店になれれば嬉しいですね」と、今後は島に住む方々だけでなく、江田島市に来てくれるきっかけになるお店にしたいと意気込む葵さん。オープンして1か月。『人が人をつなぐ』ことが魅力であるこの島で、順調にお客さんが増えている。島に住む方々や職場が江田島市の方、前の職場からのお客さんを中心に葵さんの施術は好評だ。

人とのコミュニケーションの取り方、気遣い、一つひとつ丁寧に仕事をすること…これまでのすべての仕事の経験が勉強になった。これまでのご縁に感謝しながら、たくさんの人に思いを共有していきたいと話す葵さんは、最後にこんな思いを話してくれた。「ここでお店をオープンして思うようになったんですが、島だとご年配の方も多いじゃないですか。ネイルのお店をしているんですよ～と声を掛けると、もう私は若くないから大丈夫と言う方もいるんです。でも、ネイルをすることで綺麗になる楽しさとか、気分が上がることも経験していただきたい！実際に、私自身も年配の方でネイルをされている方を見ると、とても素敵だなと思いますし、年だからと遠慮せず、みなさんに綺麗になってほしい。年代問わず、爪先から綺麗になるサポートができたらいいなと思っています」

島に住む方には癒しと感動を、市外の方にはちょっとした旅気分で楽しい時間を届けたいと意気込む葵さんは、とても物腰が柔らかく素敵な人だ。

ネイルを通して、みんなのご褒美の時間を提供したい…その言葉通り、今日も誰かが海を見ながら『ご褒美時間』を楽しんでいることだろう。

ACCESS

LICHOU リシュ
江田島市沖美町三吉 2775-1-3F
営業時間：9:00 ～ 18:00
定休日：不定休（時間外も相談可能）
予約：Instagram DM または LINE から

LINE　Instagram